

東北の山旅 山行報告

東北部の花と静かな山を求め、山旅してきました。

計画は ①裏岩手縦走 ②森吉山 ③和賀岳

- ① 裏岩手縦走は前日の天気予報が、午前 9 時以降は雨の確率が 80%で、休憩を入れて 10 時間近く歩くので八幡平から畚岳、諸桧岳、大深岳などを經由して三ツ石山荘までのコースを止めました。
車で松川温泉まで行き、そこから三ツ石山荘を目指す歩行時間の少ないコースに変更し、24 日は三ツ石山に登るだけで三ツ石避難小屋に泊まる事に変更しました。
- ③ 最後に登る予定であった和賀岳は、台風と前線の影響で悪天候が予想され中止しました。

① 裏岩手縦走 山行報告

【山城】奥羽山系北部

【ルート】八幡平のチェーン脱着所（車中泊した場所）⇒松川温泉⇒三ツ石山荘⇒姥倉山⇒大地獄谷
→岩手山 8 合目避難小屋（泊）→岩手山頂上(2038.2m)→鬼ヶ城コース→松川温泉

【登山方法】避難小屋泊縦走ハイキング

【日程・天気】2019 年 6 月 23 日（日）晴れ時々曇り後雨

6 月 24 日（月）曇り後雨

6 月 25 日（火）曇り後雨

6 月 26 日（水）晴れ時々曇り

【参加者】CL 鈴木（憲） 鈴木（愛）（記録）

【行程】

○6 月 23 日 移動日 八幡平のチェーン脱着所で車中泊

八幡平頂上の駐車場は 1 日 500 円で縦走中の 3 日間で 1500 円の由、高いのでやめる。
有料駐車場の少し下に無料駐車場があったが、そこからトイレまでがだいぶ遠く、雨の中、傘をさして行くのが嫌でそこもやめる。

八幡平頂上に向かって車を走らせている時、チェーン脱着所という所があり、そこに行ってみる。屋根付きの駐車場が有り、トイレも近いし、24 時間人感の電気がつくし、そこで車中泊することにする。

ちば山の皆さんにもそこは仮眠、テント泊にお勧めです。雨が降っても、屋根付きの駐車場があるし、トイレも綺麗で近いし、24 時間人感の電気がつくので。

そこから頂上までは車で 30 分でした。

○6 月 24 日 八幡平のチェーン脱着所 4:50 発⇒松川温泉 三ツ石登山口 5:46⇒三ツ石山荘 8:33 着
9:00 出発⇒9:30 三ツ石山頂上 9:45⇒三ツ石山荘 10:15（泊）

○6 月 25 日 三ツ石山荘 5:20 発⇒大松倉山 5:55⇒姥倉山分岐 8:28⇒大地獄谷分岐 9:33⇒不動平避難小屋 12:15⇒岩手山八合目避難小屋 12:30 着（泊）

○6 月 26 日 岩手山八合目避難小屋 5:30 発⇒不動平⇒岩手山頂上 6:25⇒鬼ヶ城コース⇒姥倉山分岐⇒松川コースを下り 松川温泉の駐車場着 12:30⇒藤七温泉（泊）

【内容】

○6 月 24 日（月） 天気 曇り後雨

チェーン脱着所の車中泊地点を 4:50 に出発し、松川温泉の登山者駐車場に向かう。（駐車場代は無料）。松川温泉の三ツ石山登山口を 5:46 に出発し、登山を開始する。最初急坂で寝具、食料、着替えを持った思いリュックが肩にくいこみ、喘ぎながら登る。三ツ石湿原に出るまでの間、

ギンリョウソウ、サンカヨウ、シラネアオイ、マイヅルソウ、イワカガミ、ショウジョウバカマ他色々な花に励まされながら登る。

今日泊まる予定の三ツ石山荘避難小屋に着くまでの間、出会った人は、地元のネマガリダケの筍取りの男性2人と女性の登山者2人だけで、静かな山歩きを楽しめた。

三ツ石山荘に着いたら、雨が降り出す前にと、水場へ行き、今夜と明日使用分の水を取りに行く。水場は滝ノ上方向に2分位歩いた所に有り、水量も十分あった。夏場は枯れる可能性もある由であった。



三ツ石山のイワカガミ



三ツ石山のハクサンチドリ



三石山のサンカヨウ

その後、雨具とカメラ、水等必要なものを持ち、近くの三ツ石山に登る。頂上までの間、イワカガミ、ハクサンチドリ、ゴゼンタチバナ、ニッコウキスゲ、ミヤマダイコンソウ、ツバメオモト、ツマトリソウ等々他沢山の高山植物が咲いてとても綺麗であった。

頂上からはうっすらと秋田駒ヶ岳、乳頭山が見えた。岩手山は中腹から下しか見えず、残念であった。大深岳が白い雪渓と緑の木々とのコントラストがとても綺麗であった。

下山しようとした時、風が強くなってきて小雨が降ってきて雨具を着て下りる。



三ツ石山荘からの三ツ石山



三ツ石山頂上にて

昨年の秋に、Mさん、Jさん、Oさんと4人で三ツ石山荘に泊まった時、とても綺麗に掃除されていて、気持ちよく過ごせた。今年も、とても綺麗で嬉しくなる。

今夜の宿泊者は私達だけかなと思っていたら、13:30頃千葉県 我孫子市のNさん(65歳の男性)が来た。私達が歩く予定だった八幡平から畚岳、諸桧岳、大深岳などを超えてきた由であった。八幡平を5:30頃出て13:30には三ツ石山荘に着くのだから、凄く早く歩け相当な健脚者だなと感じた。

夕飯の時、お酒を飲みながら、Nさんと山談義に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごす。Nさんから私達の知らない山の話色々教えてもらった。その中の話で、奥多摩の西谷山に登り、西谷避難小屋に是非泊ってみたいと思った。静かな山歩きが出来る由であった。西谷山、西谷避難小屋が好きで、管理人ではないが、何十回もそこに行き、ボランティアでいつも小屋を綺麗に掃除してくれる人がいる由であった。

雨音が大きくなり、明日の好天を祈りながら、19:30には眠りに就いた。

○6月25日(火) 天気 小雨後曇り後本降りの雨(一時土砂降り)

小雨降る中、三ツ石山荘を5:20に出発し、岩手山八合目避難小屋を目指す。大松倉山を越え、網張温泉からの道と合流して、犬倉山はトラバースする。この道は所々山菜のコシアブラやアイコ等があり、葉を取って香りを楽しむ。姥倉山分岐の辺りにハクサンチドリが沢山まとまって咲いている所があり、とても綺麗であった。今までは所々1本ずつ咲いていたのでここのは特に美しい。

さらに歩を進め、「切通し」を過ぎ、大地獄分岐を過ぎた辺りにお花畑があり、イワカガミ、イソツツジの群落があり、岩場で咲いているそれらの花が何とも可憐で、私も頑張らねばと元気をもらう。



三ツ石山のアカモノ



大地獄谷の近くのイソツツジ

大地獄谷までは雨具を脱いだり着たりであった。お花畑を超え沢を渡り、樹林帯の中を歩いている頃より不動平までずーっと本降りの雨となり、1時間位は土砂降りとなった。

不動平の手前、シラネアオイが所々咲いていて4~5株ずつとか、40株位咲いている所もあり、シラネアオイに慰められながら、土砂降りの中を歩く。そして岩手山八合目避難小屋着12:10。小屋に着いた頃は雨が止む。水場の水が豊富に出ていて、靴洗い用のたわしが置いてあったので、ドロドロになった靴とスパッツを洗う。

下着まで濡れてしまい着替え、早めに夕食を済ませ、18:30頃には深い眠りに落ちた。

○6月26日(水) 天気 晴れ 強風

4:05頃ご来光を見る。雲海の上から朝日が昇ってきて素晴らしいご来光であった。

岩手山八合目避難小屋発5:36。梅雨の晴れ間となり、嬉しい出発である。頑張るぞという力も湧いてくる。不動平でリュックをデポし、水とカメラ等必要なものだけ持ち、岩手山頂上に向かう。不動平から上は強風が吹いていた。溶岩砂礫のガレ場を登ると間もなく火口縁であるお鉢に出た。山頂(薬師岳)まで登山道に沿って三十三観音像が並んでいた。

頂上着6:25。遠く雲海の上にはうっすらと鳥海山と、月山、早池峰山が見えた。強風で寒いので、早々に下山する。



6/26 藤七温泉へ向かう時、道路からの岩手山 藤七温泉へ向かう時、道路からの畚岳
松川温泉までのコースは鬼ヶ城経由、姥倉山から松川コースを下り、松川温泉の車を駐車した所まで戻る。

不動平から鬼ヶ城コースに入り間もなくして、登山道の両側の斜面がシラネアオイの大群落。不動平の下部よりこちらの方が、丁度見ごろであり、こんなに大群落のシラネアオイは初めて見た。とても綺麗であった。写真がうまく撮れず、ちば山の皆さんにお見せできないことが残念です。

大地獄谷コースは樹林帯の中を歩くことが多く、花も少ない。鬼ヶ城コースは稜線で周りの景色が良く見え、花も種類が多く沢山咲いていて気持ちよく歩いた。



八合目避難小屋の前からのご来光

岩手山 お鉢の登山道脇の観音像

岩手山頂上を目指して登っていた時は強風であったが、鬼ヶ城コースは切り立った岩場の登り下りがあり風が弱まってきて良かった。大変な岩場はストックをしまい、3点確保をしっかり守り、登り下りした。

姥倉山を過ぎて間もなくしてオオシラビソやブナの樹林帯となる。ずーっと長くマイズルソウが群落となって咲いていた。そして松川温泉の駐車場に 12:30 着。

今夜は藤七温泉泊。色々な露天風呂が有り、泥湯は下から熱いお湯がプクプク湧き出てきて面白い感覚。夜は星を眺めながら温泉を楽しみ、朝はお風呂に入っているながら茶臼岳の方から太陽が昇ってくるのが見え、大感動であった。去年の秋に来た時は岩手山の左からの日の出であり、その時も大感動した。色々なお風呂を堪能した藤七温泉であった。



オオバキスマレ



名前の分からない花



ショウジョウバカマ



名前の分からない花



ミヤマダイコンソウ



イワウメ



岩手山頂上にて



タニウツギ

森吉山 山行報告

【山城】奥羽山系北部

【ルート】阿仁ゴンドラ駅→山頂駅→石森→森吉山山頂→石森→山頂駅→阿仁ゴンドラ駅

【登山方法】日帰りハイキング

【日程・天気】2019年6月27日（木）曇り後雨

【参加者】CL 鈴木（憲） 鈴木（愛）

【行程】藤七温泉（前日の宿泊地）8:30⇒阿仁ゴンドラ駅 10:35⇒ゴンドラの山頂駅 10:55 登山開始→石森→稚児平→森吉山頂上 12:30→仙人平へ向かって10分歩いた地点で雨が降ってきたので引き返す→森吉山頂上 12:55→稚児平→石森→ゴンドラの山頂駅 13:45⇒阿仁ゴンドラ駅 14:05⇒奥羽山荘（泊）

【内容】

○6月27日（木）曇り後雨

森吉山は北秋田市に位置し、標高1454mで、花の100名山である。昨年の今頃登る計画を立てたが、雨で中止した。今年、梅雨の晴れ間とは言えないが、来られて嬉しい。

明日の予定が和賀岳登山で、9時間位歩き長丁場なので、森吉山は歩行時間の短いコースを選ぶ。

藤七温泉（前日の宿泊地）を8:30に出発し、森吉山の麓の阿仁ゴンドラ駅に向かって車を走らせる。阿仁ゴンドラ駅に10:00頃着き、準備をし10:35頃のゴンドラに乗る。20分ほど乗り、山頂駅に着く。山頂駅から少し歩き、森吉避難小屋方面からの道と合流地点で右に曲がり、森吉山山頂を目指す。石森ピークからは緩やかな下りを歩く。更に歩を進めると池塘が現れ、そこを過ぎ緩やかな登りとなり、登り詰めると阿仁避難小屋があった。

更に歩を進め、お花畑の稚児平に着く。お花畑が2段状態になっていて、手前のお花畑はイワカガミとチングルマの大群落なのだが、チングルマがもう花が散っている花が多く終わりに近い状態で、ヒゲの様な状態のチングルマもあった。

頂上に近い奥のお花畑は丁度見頃チングルマとイワカガミの大群落となっていてとても綺麗であった。



ニッコウキスゲ



シラネアオイ



ヒナザクラ

稚児平を過ぎると間もなくして山頂に着いた。晴れていれば鳥海山、月山、岩手山等が見えるとのことだが、それらの山は全然見えず残念であった。

山頂から仙人平に向かって10分位歩いたところに雪渓があった。そこで雨が降ってきたので、仙人平に行くのは止め引き返す。頂上からの下山は往路を辿る。ずーっとゴンドラの山頂駅まで本降りとなり、カッパを着て歩く。山頂駅着13:45頃。ゴンドラに乗り阿仁ゴンドラ駅着14:05頃。そして今夜の宿の奥羽山荘に向けて車を走らせる。奥羽山荘着16:00頃。



森吉山山頂にて

稚児平のチングルマとイワカガミの大群落

左の写真を側で大きくとった写真

森吉山は花の 100 名山と言われるだけあって、ゴンドラを下りて歩き始め間もなくからず一っと何かしらの高山植物が山頂まで咲いていた。イワカガミ、チングルマ、シラネアオイ、オオバキスミレ、ツバメオモト、ショウジョウバカマ、ミツバオウレン、ハクサンチドリ、ヒナザクラ、ゴゼンタチバナ、ニッコウキスゲ、ウラジオヨウラク、マイズルソウ等々他沢山の花が咲いていて綺麗だった。

○今回の東北の山旅を終えての感想

- ・ 昨年の秋Mさん達と裏岩手縦走路を歩いた。その時Mさんが「不動平の下あたり 6 月下旬頃はシラネアオイが沢山咲いていて、そこいらじゅうシラネアオイだらけ！」と言っていたので、是非そのシラネアオイを見たい思いで、今回の山旅の一番の目的にした。そのシラネアオイの大群落に会えてとても嬉しかった。
- ・ 本当は八幡平から畚岳、諸脛岳、大深岳等々の山を越えて三ツ石山荘に行きたかった。悪天候が予想され、歩行時間の短いコースに変更したことが残念であった。
- ・ 今回歩いた山々はどこの山も毎日、この時期にしか見られない沢山の高山植物に会うことができ、良かった。
- ・ 岩手山は今回が 3 回目で、過去 2 回は頂上の薬師岳まであと少し、目の前という所で風雨強く敗退していたので、今回薬師岳まで行けたことがとても嬉しかった。